



JAL不当解雇撤回ニュース

No402号 2014.10.06
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

9月29日 京都支援共闘 稲盛財団結成30周年記念 ゴア元米副大統領の講演会場前で宣伝 高い市民の関心、チラシ500枚完配



9月29日、京都市の真ん中、京都市役所向かいのホテルで稲盛財団結成30周年記念の講演会が開かれました。

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議が主催して、JAL165名の不当解雇撤回のための抗議・宣伝行動と稲盛和夫 JAL 名誉会長への要請行動を取り組みました。

稲盛財団は1000人規模の講演会と発表していました。開会予定時間の10分前に持参したチラシ500枚を完配しました。地下通路からの直接参加や車で直接ホテル

に入られた方もいますので、講演会に参加された方の約半数がチラシを受け取ったことになり、私たちの宣伝への関心の高さを示しました。

原告団からは、客乗原告団の内田妙子団長と鈴木圭子事務局次長が参加。地元京都からは、京都支援共闘に結集される自立労連、きょうとユニオン、JAL 闘争を支える京都の会、合同繊維労組、郵政ユニオン、京教組、自治労連、地元・中京地区労、全印総連、JMIU など、平日の昼にもかかわらずたくさんの仲間が参加してくれました。

原告・内田団長を先頭に、財団・稲盛和夫理事長への不当解雇撤回を求める要請書手渡しに会場の建物に入ると、しばらくして、京セラの本社要請の際にいつも対応に出る人物が現れ、稲盛理事長はこの場には出てこれないと言うので、要請書全文を内田団長が読み上げ手渡しました。

ホテル入り口にはゴア元副大統領を批判する手書きプラカードを持参したアメリカ人と思われる若者も。会場に向かう人たちは、受け取ったチラシに掲載した稲盛理事長宛の要請書を丹念に読みながら会場のホテルへ入って行きました。

猛暑がぶり返した都大路・京都盆地。働く仲間の権利を訴える怒りのシュプレヒコールがこだましました。



【写真】要請行動にて要請書を読み上げる内田原告団長